

教育・虐待問題について



本澤 節子 議員

質問…いじめ調査結果①「ゆゆしき事態」とは②報告ゼロの学校は③暴力行為に対する検討状況は④強制わいせつ脅迫事件の対応は⑤教師による言葉の暴力の対応は⑥子供が主権者、治外法権でない教育環境づくりを。

答弁…①いじめは、当事者にとって心の大きな傷になる②平成29年度は、小・中学校29校中7校です③市内すべての学校にいじ

め不登校対策委員会を設置し、定期的に検討会を開いています④問題行動を隠へいしない体質を共通認識にするため、警察・児童相談所などへの通報をためらわないよう校長会などで指導しています⑤通報・相談は多数あり、事例ごとに対応してまいります⑥小中学校でアンケートを月1回実施、保護者にも機会あるごとに実施しています。

質問…子供への虐待について①警察から市への通報は②DV加害者対策、学校の「ことなかれ主義」をなくす対策は。

答弁…①平成30年度は20人です②毎月実施する市要保護児童対策地域協議会において児童相談所、警察、子ども幸福課などと連携し、情報の共有を図り、健全な成長を支えます。

一般質問



印南 典子 議員

本市の業務効率化に向けた人工知能(AI)などの活用について

質問…現状と今後の取り組み課題について伺います。

答弁…現在第2次大田原地域ICT総合推進計画の中で、情報システム導入活用の強化をし、AIについて調査研究に取り組んでいる。保育園入園選考自動システムは、開発業者や担当課と検証しているが、費用対効果の問題が挙げられる。しかし、人工知能(AI)を活用したシ

ステムは今後いろいろな面で活用が図られていく事が想定される。さらに業務効率化が図られる。さらに業務効率化が図られる。市民サービス向上に繋がるよう早期導入に向け調査研究を進めて参りたい。汎用性が広がって、費用対効果が良くなった頃が導入時かと考えている。ただ調査研究は決して怠らない。

質問…私は、こういった先進技術を活用して業務の効率化を図

り、職員さんは市民に寄り添い、相談に乗る時間が増える事を望んでこの質問をしました。超高齢社会を迎え、高齢者のスピード感に合わせた今よりも更に思いやりのある行政サービスが実現できるのではないかと思えます。その点の市長のお考えをもう一度お聞かせ願います。

答弁…印南議員ご指摘の通り、全く同じ意見です。